住吉川への愛着を醸成するために

▶住吉川親子水辺フェア

毎年8月上旬に、子供たちに川と親しんで もらうための住吉川親子水辺フェアを実施し ています。

講師を招いて実施する「水辺教室」では 解説を聞きながら実際に水生生物を観察す ることで、川や、そこに棲む生物への理解を 深めてもらいます。

「水のアーチ」は、消防車のポンプから川の 水をくみ取り、放水することで作り出されま す。住吉川の美しい水が描く風景が涼を呼 び、来場者の目を喜ばせています。

30年間続く親子水辺フェアで恒例となっ ているのが、大人気の「金魚のすくいどり」で す。子供たちは川に直接放流された金魚をす くい、持ち帰ってそれぞれの家庭で大切に飼 育します。

その他、木や竹など自然のものから水鉄砲 などを作って遊ぶ「工作教室」など様々な催し があり、自然の中で涼を取ることができるイ ベントとして愛されています。





▶住吉川絵画コンクール

夏休みの期間中に、「住吉川での楽しい体 験」を描いた絵画を、幼稚園以下の部、小学生 の部に分けて募集しています。どちらも毎年た くさんの応募が寄せられ、親子水辺フェアで の体験を描いた作品も多くあります。

それらの作品を住吉川清流の会の理事が 審査し、会長賞と入賞を選出しています。受賞 者には、表彰式で表彰状と記念品を授与する ほか、作品を東灘図書館ロビーに展示し、来館 者を楽しませています。



ロゴマーク

発足40周年を目前に控えた平成30年、住吉川清流の会のロゴマークを作成しました。 六甲山から下る清らかな水の流れと、鮎や鴨が棲む美しい自然環境が、これからもずっと 続いていくようにとの願いが込められたデザインとなりました。



▶住吉川清流の会〈活動年表〉

「住吉川清流の会」発足 昭和54年 4月21日

> 6月3日 住吉川クリーン作戦を実施(以後毎年2回実施)

昭和55年 8月27日 水辺教室を開催

9月1日~10日 住吉川絵画コンクール作品展を開催(以後毎年実施) 昭和56年 10月 「神戸市市民の水辺連絡会 | 発足(以後毎年参加) 昭和59年8月19日 5周年記念式を開催(9月に写真展を開催)

昭和60年 7月23日 「ホタル育成のための研修会」を開催

7月25日~29日 地元中学校に協力を得て、水生生物調査を実施

昭和61年 5月25日 「清流の道公園」完成記念式典を開催 昭和62年 10月1日 住吉川飼い犬パトロールを実施(以後毎年実施)

平成 元年 8月6日 もとやま親子遊園で10周年記念式典を開催 平成 2 年 8月5日 住吉川親子水辺フェアを開催(以後毎年開催)

平成 5 年 8月7日 アーバンリゾートフェア'93「住吉川そうめん流し」に協力

平成 6 年 11月29日 15周年研修旅行(兵庫区石井川、西区伊川)

平成 7 年 1月17日 阪神・淡路大震災が起こる

平成 8 年 4月7日 「服部の自然を守る会」の協力を得て、ホタルの幼虫とカワニナを放流(以後毎年交流)

平成11年 8月8日 20周年記念式典開催

平成12年 9月 活動内容のパネル展示を絵画コンクールと同時開催

平成14年 6月1日 服部ほたる祭りに参加 平成17年 住吉川流域の各種看板を補修

平成18年 11月 服部の自然を守る会15周年記念誌に住吉川清流の会の紹介を掲載

平成21年 1月27日 「住吉川流域連絡協議会」発足。川の活動団体として参加 30周年記念イベント「リバーサイドフェスティバル」を開催 11月22日

平成30年7月 平成30年7月豪雨により、清流の道が破損

> 9月 台風21号により、清流の道が破損 10月 住吉川清流の会のロゴマークを作成 11月 ロゴマーク入りのクリーン作戦のぼりを作成

平成31年 1月 神戸新聞で住吉川の特集が組まれ、柴田会長のコメントを掲載

3月 ロゴマーク入りのビブスを作成 令和元年 4月~6月 清流の道の補修工事を実施

> 8月3日 住吉川清流の会40周年記念として、拡大版の住吉川親子水辺フェアを開催

▶会長のごあいさつ

住吉川を愛する人々のボランティアから始まった住吉川清流の会も、今年で40周年を迎えまし た。ここまで活動を続けてこられたのも、当会の活動にご賛同、ご協力くださるすべてのみなさまの おかげです。誠にありがとうございます。

これからも、住吉川と親しむイベントや清掃活動を続けていくことで、この美しい清流を守り、伝 えていきたいと考えています。

住吉川の清流とともに、この清流の会も末永く続いていくよう願い、挨拶とさせていただきます。 会長 柴田 征三



行 住吉川清流の会 問い合わせ 事務局:東灘区役所まちづくり課 TEL.841-4131 FAX.811-4901 令和2年1月発行



住吉川清流の会

住吉川清流の会は、住吉川の清流を守り、維持していきたいとの願いから、昭和54年 に設立されました。現在のクリーン作戦である、住吉川周辺地域の方々による清掃活動 から輪が広がり、現在、自治会、婦人会、子ども会を中心に約50団体が加入しています。 毎年、住吉川の清掃や、川に親しんでもらうためのイベントなどを実施しています。

住吉川の清流を守るために

▶住吉川クリーン作戦

毎年春と秋の2回、クリーン作戦を行ってい ます。会員の他にも、小さな子供からお年寄り まで、毎回たくさんの人が参加して、住吉川の 中や清流の道を清掃しています。川の水をき れいに保ち、いろいろな生きものが棲むことが できる環境づくりにつながるだけでなく、住吉 川の環境について考える絶好の機会となって います。住吉川清流の会発足時から40年続 く、会の原点とも言えるイベントです。



▶ホタルの幼虫・カワニナの放流

秋のクリーン作戦終了後に、住吉川にホタル の幼虫・カワニナの放流を行っています。阪 神・淡路大震災以後は、傷付いた神戸を励ます ため交流を図ってくれた広島県福山市の「服 部の自然を守る会」からホタルの幼虫とカワニ ナを提供いただき、共同で住吉川上流に放流 しています。夏頃には、ホタルが舞っていると ころが見られます。



▶飼い犬パトロール

清流の道では、犬の散歩をする方がたくさ んいます。そこで、行政と協力して、飼い犬マ ナーの啓発活動を行っています。犬のフンの 持ち帰りや、散歩マナーの向上を呼びかける ことが、清流の道を美しく保つ一助となって います。





▶住吉川とは

住吉川は六甲山地に水源があり、その急な斜面を下って 東灘区内を流れ、大阪湾に注ぐ二級河川です。水源から河 口までは約9kmあり、支流を合わせた総延長は36kmを超 えます。その水質は、有機性汚濁を表すCODが1.9mg/L、 ふん便性大腸菌群数が60個/100mL(令和元年6月現在) と、水浴場水質判定基準に当てはめると「適」区分(適、可、 不適の3区分)となる、市内でも有数の清流です。

●住吉川の生物

住吉川には、多くの種類の生物が生息しています。貴重な生物もいます。 この大切な環境をみなさんで保全していきましょう。

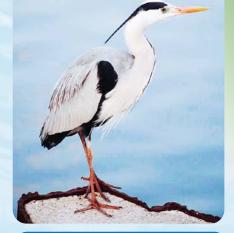


アリアケスミレ

スミレ科スミレ属 白色に、紫の筋がとてもきれいです。 名前は、花の色が有明の空のように変化に 富むことに由来します。住吉川の石垣の間 に、現在120個体が確認されています。



サケ目キュウリウオ亜目アユ科アユ属 体長20cmを超えます。天然のアユが生息し ています。稚アユが、早春に海より遡上し、中 下流域に定着しています。成魚は、コケを食 べることでも有名です。縄張りをつくります。



アオサギ

コウノトリ目サギ科 全長93cm 背が灰色の最も大きなサギです。 長めの鋭いくちばしで、魚などを とります。首をS字状に折り曲げ て飛びます。

▶清流の道

六甲ライナー

鳴尾御影線

山手幹線

住吉川東緑地

住吉川の河中道路は、昭和38年に土砂を運搬する道路として建設されました。昭和44年まで の6年間、1円約1.000台のダンプトラックが往復していたため、ダンプ道と呼ばれていました。 土砂の運搬の必要がなくなってからは立ち入り禁止となり放置されていましたが、地域住民の強 い要望により、昭和49年、遊歩道として開放されました。その際、遊歩道の愛称が募集され、選 ばれた「清流の道」は今なお市民の憩いの場として親しまれています。

▶増水警報システム

住吉川には、16ヵ所の増水警報システム(回転灯)が設置されてい ます。ラジオ電波を利用することで、大雨洪水注意報および警報の発 表と連動して回転灯が作動するシステムです。

住吉川を利用する人々に増水の危険性をいち早く知らせ、安全を守 るために役立っています。













国道43号